

## 感謝を伝える大切さ

千代中学校 三年 堀 萌菜

私は、「ありがとう」という言葉には、とても大きな力があると思っています。たった五文字の言葉ですが、それを伝えるだけで、相手の心を温かくし、自分の気持ちも前向きに変わります。だから私は、どんなときでも感謝の気持ちを持ち、それを言葉で伝えることが大切だと考えています。

私がそのことに気づいたのは、小学5年生のときの出来事がきっかけでした。私は、家族から誕生日プレゼントとして、前から欲しかったゲームのカセットを買ってもらいました。ですがその日の私は、なぜかイライラしていて、「ありがとう」の一言が言えず、早く帰ってプレイしたいという気持ちでいっぱいになってしまいました。家に着いてからも、親に冷たい態度を取ってしまいました。その日の夜、父が私の部屋に来て、「誕生日プレゼントを買ってもらって嬉しいのは分かるけど『ありがとう』って言ってくれたら、こっちも買ってよかったなってうれしい気持ちになるんだよ。」と。私はその言葉を聞いて、胸がぎゅっと締めつけられるような思いがしました。「ありがとう」という思いは、言わなくても伝わると思うていたけれど、やっぱり言葉にしなると伝わらないのだと実感しました。それ以来、私はどんな小さなことでも「ありがとう」というように心がけています。

道を譲ってくれた人に。ノートを貸してくれたクラスメートに。いつもがんばってくれている家族に。はじめは少し照れくさかったけれど、言うたびに相手が笑顔になってくれるのを見て、「ああ、この言葉には、本当に力があるんだ。」と感じるようになりました。また、感謝の言葉は人間関係をよくすることにもつながります。あるとき、部活動で後輩がミスをしてしまい、みんなが少し冷たい雰囲気になったことがありました。その後輩は誰よりも一生けん命にがんばっていたことを私は知っていたので、声をかけました。「手伝ってくれてありがとう。次は上手に出て来るよ。」そう言うと、その後輩は笑って「はい！」と元気良く答えてくれました。その日から、その後輩は前よりも積極的に行動するようになりました。「ありがとう」は、相手の行動を認める言葉です。それを言われた人は、「自分のやったことが無駄じゃなかったんだ」「がんばってよかった」と思えるのだと思います。逆に何も言われなかったら、自分の努力が無視されたような気持ちになってしまうかもしれません。現代では、SNSやメールで簡単に連絡を取れるようになりましたが、だから

こそ直接言葉で「ありがとう」を伝えることの価値が高まっていると感じます。文章だけでは、気持ちがうまく伝わらないこともあります。目を見て、声に出して伝えること、その思いはずっと強く相手の心に残るのです。もちろん、いつも完璧に感謝を伝えられるわけではありません。私も忙しかったり、疲れていたりしてつい忘れてしまうこともあります。でもそんなときでも、あとで気づいたら「さっきはありがとう」と伝えることを大事にしています。遅れても、その一言はきつと意味のあるものになると思うからです。

私はこれからも、「ありがとう」の気持ちを大切にして生きていきたいと思っています。そして、それを言葉にして伝えることを忘れずにしていきたいです。もし一人ひとりが感謝の気持ちを持ち、それを素直に伝えられるようになれば、学校や家庭、社会全体がもっとあたたかい場所になるのではないのでしょうか。私たちにできることは小さなことかもしれませんが、でもその小さな「ありがとう」の積み重ねが大きな優しさや信頼を生むのだと私は信じています。